

『大江戸科学捜査 八丁堀のおゆう』シリーズ
山本巧次／著 宝島社 2015.8～
ISBN:978-4-8002-4441-3

八丁堀に鑑識があったら… そんな空想を物語にしたかのような本シリーズ。祖母の遺した不思議な家を通して、200年前の江戸と現代の二重生活を送る女親分おゆうこと元OLの優佳が現代科学（友人頼み）で江戸の謎に迫ります。既刊11巻で継続中、関西ローカルでドラマ化もされました。

タイムスリップ

『ゲイルズバーグの春を愛す』
ジャック・フィニイ／著 福島正実／訳 早川書房
1980.11 ISBN:4-15-020026-2

無情な未来に抗う過去を描いた表題作、時を超える文通という魅惑的なテーマの嚆矢となった『愛の手紙』などを収めた、郷愁とロマンを追い求めた作者の短編集。タイムマシンのような理屈付けは使わずに、日常と地続きの不思議な世界を表現します。

『たんぼぼ娘』
ロバート・F.ヤング／著 伊藤典夫 他／訳 河出書房新社
2015.1 ISBN:978-4-309-46405-3

ながらく入手困難でしたが、『ピブリア古書堂の事件手帖』で取り上げたのがきっかけで復刻を果たした短編集。時間ものの名作と名高い同名の短編を収めます。妻子ある身で、自称時間旅行者の少女に恋した男の顛末は…

『東京タイムスリップ1984⇔2021』シリーズ
善本喜一郎／写真 河出書房新社 2021.5～
ISBN:978-4-309-29142-0

あの頃のあの場所へ——昭和の末頃の東京を映したモノクロフィルム。それだけならただの古い写真ですが、現代の同位置同角度からの写真と並べると、一瞬でタイムトンネルに。機械仕掛けのいらぬ、時間の旅へ出かけてみませんか。続刊『東京DEEP～』『東京RETRO～』も所蔵しています。

『文系のためのめっちゃやさしい時間』
吉田直紀／監修 ニュートンプレス 2022.9
ISBN:978-4-315-52605-9

「そもそも時間って何？」ふと思う根本的な疑問。とっつき難そうな現代物理学の最先端を、イラストも使って数字アレルギーの人にも分かりやすく解説。「1秒」「同時刻」など何気に使っていた言葉も考え直し、時間旅行の可能性にもアプローチします。

「ドラえもんを観てタイムマシンに憧れなかった子供がいるでしょうか。そんな夢を形にした本を集めてみました。頁をめくる指であの日へ旅を…」



第21回

書名でしりとり

書名の最後の一字で次の本へつなげていく企画、第21回の文字は前回の書名から「ピ」です。

『ピュウ』

(キャサリン・レイシー／[著] 井上里／訳 岩波書店 2023.8)

舞台はアメリカ南部の小さな町。教会で目覚めた主人公は、名前、国籍、性別、人種、なにもわからず、また自らも語ろうとはしません。便宜的に信者席を意味する“ピュウ”と名付けられます。ピュウの登場は、静かな動揺とともに、敬虔なキリスト教徒の多い保守的な町の隠された側面を明らかにしていきます。人種や性の枠組みを揺さぶる一冊。



2024年12月-2025年1月号

特集
1

ちらっと50号を記念して♪
タイムスリップ

特集
2

自分流ではじめる
手帳術

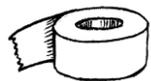
連載

書名でしりとり

お知らせ

西東京市図書館からのお知らせ
FM西東京で紹介した本

自分流ではじめる



手帳術

文章を書いたりまとめたりするのは好きだけどイマイチしっくり来ない…。文房具は好きだけど続かない…。そもそも面倒くさい…。手帳の悩みは千差万別。その悩みを解決するかもしれない様々な手帳術を紹介します。

『暮らしに役立つかんたん マイノート&手帳術』

mizutama/著 エクスナレッジ 2019.9
ISBN: 978-4-7678-2672-1

イラストレーターで消しゴムハンコ作家の著者が少しズボラな手帳の書き方を紹介。スケジュール帳だけでなくお金ノート、やることリスト、推し手帳の作り方まで、すぐにマネできるイラスト図案とともに掲載しています。

『よはく手帳術ーモヤモヤを手放して、本当の自分を取り戻すー』

miyu/著 実務教育出版 2022.12
ISBN: 978-4-7889-2623-3

手帳はギチギチに書いていないと落ち着かない? “よはく”を持った手帳を使う事で、心にもスケジュールにも“よはく”が生まれるかもしれません。

『デコる!学ぶ!推す!』

楽しいが広がる趣味手帳のはじめ方』

KADOKAWAライフスタイル編集部/編
KADOKAWA 2023.9
ISBN: 978-4-04-606470-7

推し活日記、トラベルログ、カフェ巡り…趣味の記録を手帳にまとめているインフルエンサーやインスタグラマーの手帳を大公開。

『ジブン手帳公式ガイドブック 2025』

佐久間英彰/著 実務教育出版 2024.9
ISBN: 978-4-7889-2037-8

24時間軸のバーチャル手帳「DIARY」、罫線が付いているメモ帳の「IDEA」、そして年を問わずずっと使い越せる「LIFE」の3パターンを展開しているジブン手帳のガイド。ほぼ日はちょっとなあ…という人でもこちらはシンプルに使いませます。3冊同時使いもOKです。

『カワイイ手帳の作り方ー文具LOVERが教える手書きを楽しむヒント200!ー』

KADOKAWA/編 KADOKAWA 2019.9
ISBN: 978-4-04-604440-2

シールや付箋、写真はもとよりデザインペーパーやスタンプを駆使した、もうワンランク上級の手帳を目指したい方にオススメ。

年末年始のお知らせ

西東京市図書館は、下記の期間全館休館いたします。

2024年12月29日(日)
～2025年1月3日(金)

※ブックポスト、図書館ホームページの停止期間については、館内ポスターおよび図書館ホームページにてご確認ください。

FM西東京で紹介した本

『帰ってきたコンペイトウ』

栗原英次・入山喜良 著/立東舎/2024.8

ガラスであり、菓子であり、玩具でもある—— 明治から昭和30年代にかけて人気を博した小さな瓶入りの金平糖。その多彩な形に魅せられた収集家2人の、半世紀にわたるコレクションを中心に紹介する1冊です。ガラス製がほとんどですが、セルロイド製のボディと組み合わせて丸く膨らんだタヌキの腹鼓を表現した変わり種も。往時、駄菓子屋の軒先にはこれら様々な容器に収められたカラフルな金平糖が吊られていたようで、子ども心にどれほど眩しく映ったでしょうか。他の小型菓子容器や、近代の菓子広告、容器のカタログも併せて収録します。

『翼の翼』

朝比奈あすか 著/光文社/2021.9

専業主婦のまどかは、元同僚の夫・しんじと息子のつばさの三人暮らし。つばさが小学二年生のときに受けた全国テストをきっかけに、一家は中学受験の道に足をふみいれます。「いつでもやめられる」そう思って始めたまどかでしたが、中高一貫校出身のしんじやそんな夫を育てた教育熱心な義父母、そして周囲の噂に、次第に振り回されていきますー中学受験を皮肉った本ではけっしてなく、これは子どもの心のお話であり、家族の心のお話です。つばさが必死に考えた、けれども必ずばれる嘘のくだりは、全ての親御さんに読んでほしいです。

発行: 西東京市図書館

<https://www.library.city.nishitokyo.lg.jp>